

MDM証明書更新ガイド



改版履歴

改版No.	ページNo	変更内容	日時
1		制定	2016/11/15

目次

announce

1. MDM証明書の更新について(p.4)
2. 更新の流れ(p.8)

guide

1. MDM証明書を更新する(p.10)
 - 1-1 管理コンソールからベンダー署名付きCSRファイルをダウンロードする(p.11)
 - 1-2 APCPからMDM証明書をダウンロードする(p.13)
 - 1-3 管理コンソールにMDM証明書をアップロードする(p.16)
 - 1-4 MDM証明書の有効期限が更新されたことを確認する(p.18)
 - 1-5 MDM証明書のアップロードに失敗した時の対処方法(p.19)

お問い合わせ先 (p.20)

MDM証明書の更新について

1-1 MDM証明書の更新について

announce

1

MDM証明書の更新とは？

MDM証明書は、リモートロック・リモートワイプ機能をはじめとしたプッシュサービスなどの認証情報を生成し、MDM機能を利用するために必要な証明書です。iOS端末をLanScope Anで管理するためには必須となるものです。

お客様ご自身でApple社の公式サイトである「Apple Push Certificates Portal（以降APCP）」から証明書を取得し、LanScope Anの管理コンソールにアップロードする必要があります。

なお、MDM証明書には有効期限があり、1年ごとに更新が必要です。

本書では、MDM証明書の更新手順についてご案内します。

新規でMDM証明書をご登録する場合は「スタートアップガイド for iOS」を参照してください。

MDM証明書の有効期限

MDM証明書の有効期限は「**1年間**」です。iOS端末を継続して管理するためには、1年ごとに更新作業が必要です。有効期限が切れた場合、**iOS端末が管理できなくなるため**、必ず期限内に更新作業を行ってください。

MDM証明書は有効期限後も更新可能です。万が一有効期限が切れた場合は、すぐにMDM証明書の更新を行ってください。更新後、iOS端末の管理を再開できます。

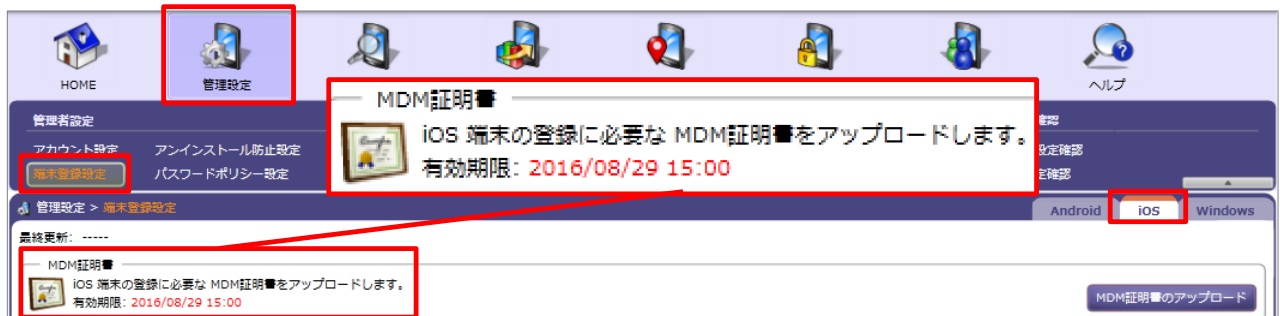
MDM証明書の有効期限の確認

MDM証明書の有効期限は次の方法で確認できます。

- **管理コンソールから確認する**

有効期限は管理設定の「端末登録設定」画面に表示されます。有効期限が切れている場合は赤字で表示されます。また、MDM証明書の有効期限が残り30日以内になった場合、管理コンソールにログインした際にポップアップで通知されます。

【端末登録設定画面】



- **通知メールから確認する**

MDM証明書の有効期限が近づいた際に、通知メールを受け取ることができます。メールの通知方法は、次の2種類あります。

- Apple社から、Apple IDとして利用しているメールアドレス宛に通知する
MDM証明書を作成する際に、APCPで登録したApple IDとなっているメールアドレス宛に、有効期限を通知するメール（英語）が自動的に届きます。
- LanScope Anから、「メール配信設定」で設定した任意のメールアドレス宛に通知する
「MDM証明書の登録」画面の「メール配信設定」を設定することで、任意のメールアドレスへ有効期限を通知するメールを届けることができます。
メール通知設定の詳細は、「スタートアップガイド for iOS」を参照してください。

MDM証明書の更新に必要なもの

- 管理コンソールにログインできるアカウントとパスワード
- MDM証明書の初回登録時に利用したApple IDとパスワード
 - ※ APCPにサインインするために必要です。
 - ※ MDM証明書の初回登録時に、「MDM証明書の登録」画面の「メモ」にApple IDとパスワードを入力している場合は、「メモ」の内容を参照してください。

【MDM証明書の登録】

MDM証明書の登録

MDM証明書の登録手順 1
ベンダー署名付き CSR ファイルをダウンロードします。 [ダウンロード](#)

MDM証明書の登録手順 2
ベンダー署名付き CSR ファイルを、Apple Push Certificates Portal にアップロードします。 [\[Apple Push Certificates Portal\]](#)
アップロードが完了すると、MDM 証明書ファイルがダウンロードできるようになります。

MDM証明書の登録手順 3
Apple Push Certificates Portal からダウンロードした MDM 証明書をアップロードします。
MDM 証明書 (*.pem): [アップロード](#)
有効期限: -----

メール配信設定
MDM 証明書の有効期限が近づいていることを、指定のメールアドレスに通知することができます。
有効期限の 30 日前、7 日前、前日、当日に通知します。
通知先メールアドレス: [テスト送信](#)

メモ
Apple ID: motex@test.co.jp
PassWord: Pass_W01d

※MDM証明書の有効期限は 1 年です。
MDM 証明書の有効期限が過ぎた場合、既に管理下にあるデバイスとの通信ができなくなるため、ご注意ください。
※Apple Push Certificates Portal にログインするには、Apple ID が必要です。
翌年には証明書の年次更新を行う必要があるため、破棄する恐れのあるメールアドレスでは取得せず、使用した Apple ID は必ず保管してください。

[OK](#) [キャンセル](#)

◆注意

Apple IDは、必ずMDM証明書の初回登録時および前回更新時に利用したものと同じものをご用意ください。また、紛失した場合はMDM構成プロファイルの入れ直しが必要となりますので、十分ご注意ください。

MDM証明書はApple IDと紐付いて発行されるため、Apple IDを紛失した場合、新しいMDM証明書を発行する必要があります。MDM証明書を新しくすると、iOS端末へMDM構成プロファイルをインストールし直す必要があります。

また、新しいMDM証明書を管理コンソール上で登録する際は別途作業が必要なため、必ずサポートセンター(p.20)までお問い合わせください。

更新の流れ

2-1 MDM証明書の更新の流れ

announce

2

MDM証明書の更新の流れ

2-1

1. 管理コンソールからMOTEXの署名付きCSRファイル(証明書署名要求)をダウンロードする

管理コンソールから
CSRファイルを
ダウンロード



2. APCP上でMDM証明書を更新し、ダウンロードする

CSRファイルと引き換えに
MDM証明書を
ダウンロード



3. 管理コンソールにMDM証明書をアップロードする

MDM証明書を
アップロード後、
更新期限を確認



4. MDM証明書の有効期限が更新されたことを確認する

MDM証明書を更新する

- 1-1 管理コンソールからベンダー署名付きCSR
ファイルをダウンロードする
- 1-2 APCPからMDM証明書をダウンロードする
- 1-3 管理コンソールにMDM証明書をアップロード
する
- 1-4 MDM証明書の有効期限が更新されたことを
確認する
- 1-5 MDM証明書のアップロードに失敗した時の
対処方法

guide

1

管理コンソールからベンダー署名付き CSR ファイルをダウンロードする

MDM証明書を更新するために、APCPへアップロードする「ベンダー署名付きCSRファイル」を準備します。

※注意

- 「MDM証明書の登録」画面で取得した各ファイル(ベンダー署名付きCSRファイル、MDM証明書)は、必ずお手元の PC にバックアップを取得し、保存してください。
- MDM証明書は、更新作業ごとにベンダー署名付きCSRファイルをダウンロードして作成してください。過去のベンダー署名付きCSRファイルを利用した場合、MDM証明書のアップロードに失敗する場合があります。

①管理コンソールにログインします。

- LanScope Anの納品メールに記載されているURL にアクセスします。
- 納品メールに記載されているアカウントとパスワードを入力してログインします。

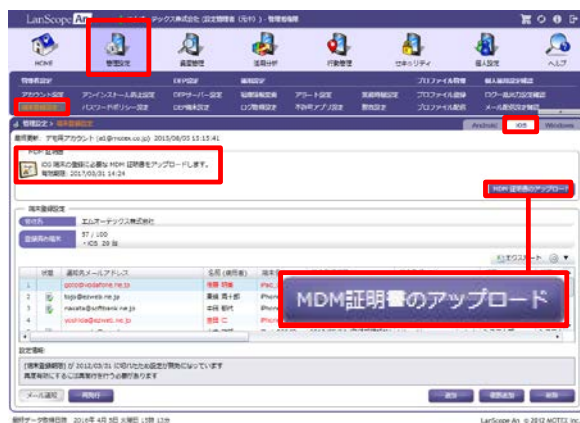
【管理コンソールログイン画面】



②ベンダー署名付き CSR ファイルをダウンロードします。

- 「管理設定」メニューを選択し「端末登録設定」をクリックします。
- 右上のタブを「iOS」に切り替えます。
- MDM証明書の有効期限を確認のうえ、「MDM証明書のアップロード」をクリックします。

【端末登録設定】



4. 「MDM証明書の登録」が開きます。
「MDM証明書の登録手順 1」の「ダウンロード」をクリックします。

【MDM証明書の登録】



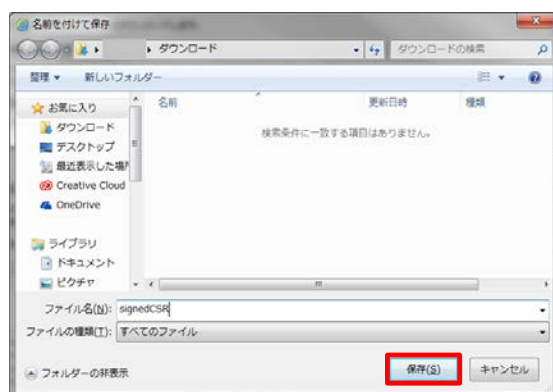
5. 確認のダイアログが表示されます。
内容を確認して「OK」をクリックします。

【確認のダイアログ】



6. 「名前を付けて保存」ダイアログが開きます。
保存先フォルダーを選択し、「保存」をクリックしてCSRファイルを保存します。
デフォルトのファイル名は【signedCSR】です。

【名前を付けて保存】



APCPからMDM証明書をダウンロードする

「1-1 管理コンソールからベンダー署名付きCSRファイルをダウンロードする」(p.11)の手順で取得した「ベンダー署名付きCSRファイル」をAPCPへアップロードすることで、MDM証明書を更新できます。

1. APCPへアクセスします。

前ページの手順より、「MDM証明書の登録」画面から「MDM証明書の登録手順2」の「Apple Push Certificates Portal」のリンクをクリックします。

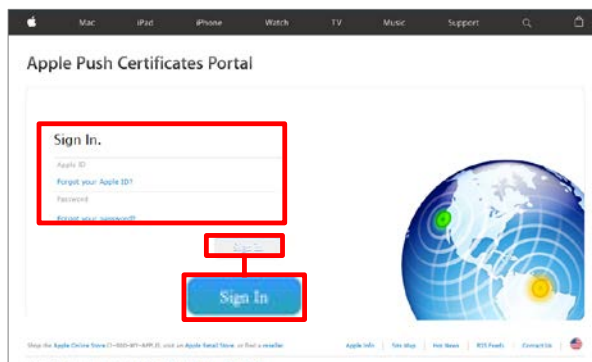
【MDM証明書の登録】



2. 「Apple Push Certificates Portal」のトップページが開きます。

MDM証明書の初回登録時および前回更新時に利用したApple IDとパスワードを入力し、「Sign In」をクリックします。

【Apple Push Certificates Portal トップページ】



※注意事項

APCPの仕様により、Internet ExplorerではMDM証明書のダウンロードが正常に行えない場合があります。

ダウンロードが正常に行えない場合、他のWebブラウザをご利用ください。

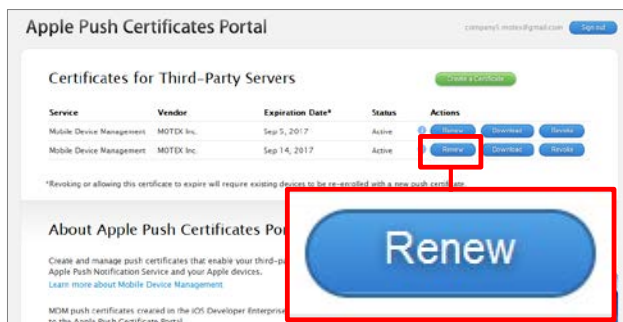
なお、APCPの対応ブラウザについては、Apple社へお問い合わせください。

3. 「Certificates for Third-Party Servers」が表示されます。ここでは、発行済み証明書の一覧が表示されます。

LanScope Anで初回登録時および前回更新時に利用したMDM証明書の「Renew」をクリックします。

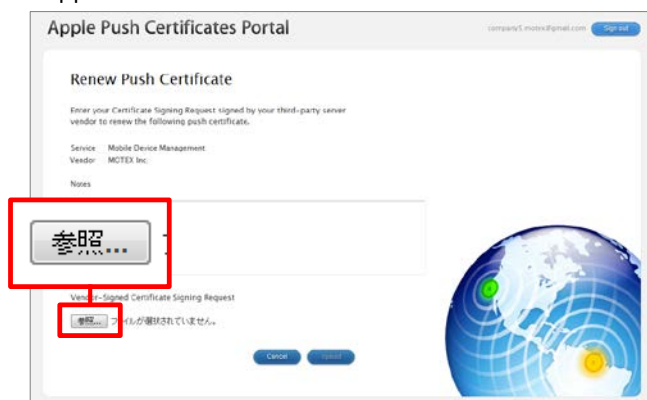
証明書が複数登録されており、LanScope Anに登録したMDM証明書が不明な場合は、サポートセンター(p.20)までお問い合わせください。

【Apple Push Certificates Portal】



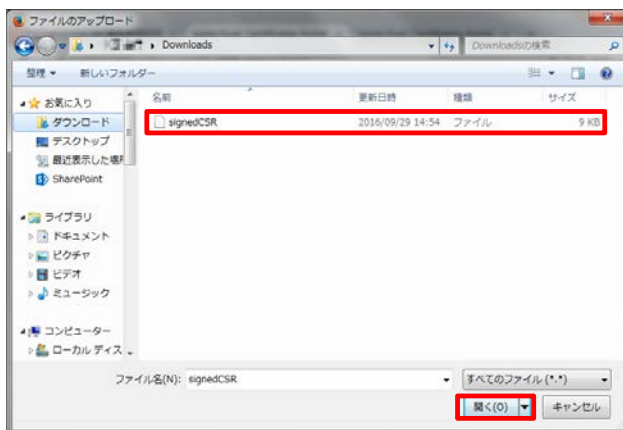
4. 「Renew Push Certificate」が表示されます。ここでは、「ベンダー署名付きCSRファイル」をアップロードします。「参照」をクリックします。

【Apple Push Certificates Portal】



5. 「ファイルのアップロード」ダイアログが開きます。「1-1管理コンソールからベンダー署名付きCSRファイルをダウンロードする」(p.11)の手順で保存した「ベンダー署名付きCSRファイル(signedCSR)」を選択し、「開く」をクリックします。

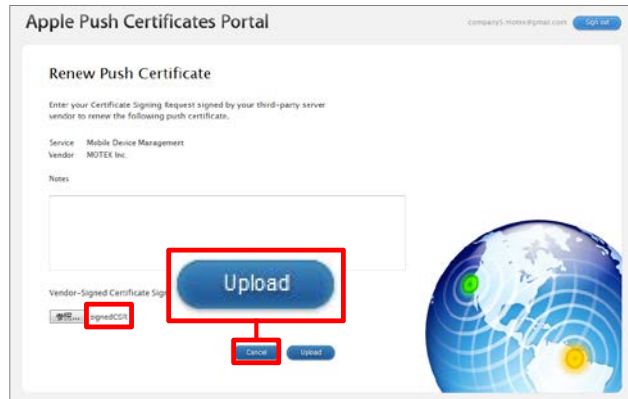
【ファイルのアップロード】



6. ファイル名が画面に反映されたことを確認し、「Upload」をクリックします。
7. 「ベンダー署名付きCSRファイル」のアップロードが完了すると、「Confirmation」画面が表示されます。
有効期限(Expiration Date)が1年間延長されていることを確認のうえ、「Download」をクリックします。
更新されたMDM証明書
(MDM_MOTEXInc._Certificate.pem)が設定した保存先のフォルダーに保存されます。

APCP上の作業は以上です。MDM証明書が保存されていることを確認し、APCPの画面を閉じます。

【Apple Push Certificates Portal】



【Apple Push Certificates Portal】



管理コンソールにMDM証明書をアップロードする

前のページで取得したMDM証明書を管理コンソールにアップロードします。MDM証明書をアップロードすることで、有効期限が「**1年間**」延長され、LanScope AnでiOS端末を継続して管理できるようになります。

1. 管理コンソールに戻り、「MDM証明書の登録」画面から「MDM証明書の登録手順3」の「アップロード」をクリックします。

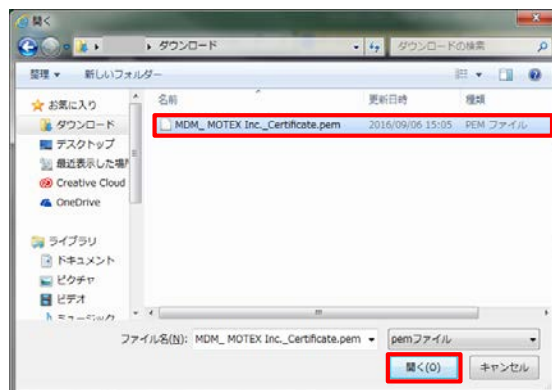
※「MDM証明書の登録」を閉じてしまった場合は、「管理設定」メニューから「端末登録設定」をクリックし、「iOS」タブに切り替えます。その後、「MDM証明書のアップロード」をクリックして画面を開きなおします。

【MDM証明書の登録】



2. 「開く」ダイアログが表示されます。「1-2 APCPからMDM証明書をダウンロードする」(p.13)でダウンロードしたMDM証明書(MDM_MOTEX Inc._Certificate.pem)を選択し、「開く」をクリックします。MDM証明書がアップロードされます。

【開く】



【MDM証明書の登録】

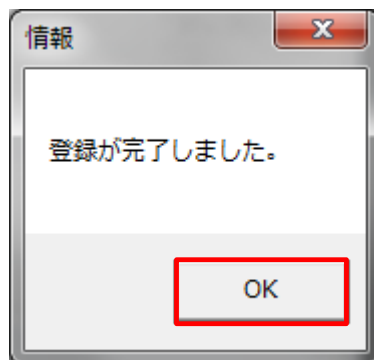
3. 「MDM証明書の登録3」の「MDM証明書 (*.pen)」項目にアップロードしたMDM証明書のファイル名が表示されたことを確認し、「OK」をクリックします。



4. 「OK」をクリックし、「情報」ダイアログを閉じます。

以上でLanScope AnでのMDM証明書の更新作業は完了です。

【情報】

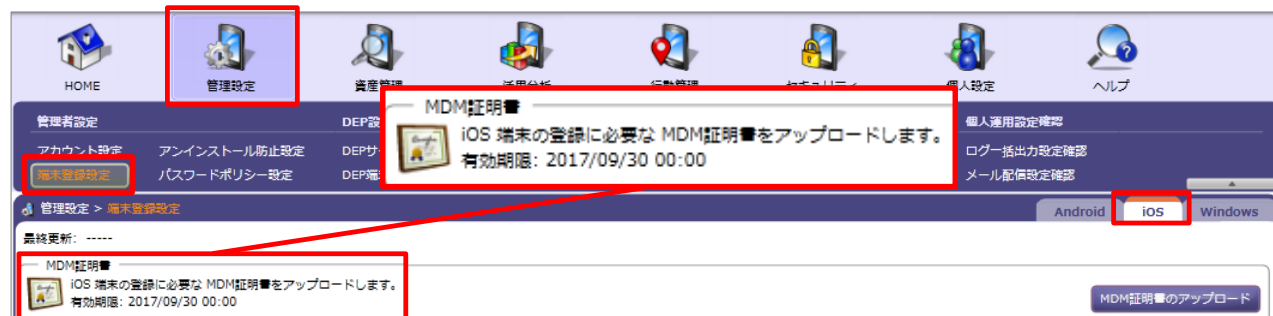


MDM証明書の有効期限が更新されたことを確認する

MDM証明書をLanScope Anの管理コンソールにアップロードした後、正しくMDM証明書が更新されたか確認します。

管理コンソール上で、「管理設定」メニューの「端末登録設定」を開きます。タブを「iOS」に切り替え、「MDM証明書」項目を確認してください。有効期限が「**1年間**」延長されていればMDM証明書の更新作業は完了しています。

【端末登録設定画面】



MDM証明書のアップロードに失敗した時の対処方法

▼MDM証明書の登録手順3で「アップロード」をクリック後(p.16)、エラーが表示された場合の対処方法



以下の方法で対処してください。

エラーメッセージ	対処方法
MDM証明書の読み取り中にエラーが発生しました。 無効な MDM証明書である可能性があります。	MDM証明書の読み取りに失敗しています。 誤ったファイルをアップロードしている可能性があるため、正しいMDM証明書をアップロードするか、一旦作成したファイル(ベンダー署名付きCSRファイル、MDM証明書)をすべて削除し、MDM証明書の登録手順をはじめからやり直してください。
MDM証明書の読み取り中にエラーが発生しました。 証明書の公開キーが違います。 ダウンロードした CSRファイルで作成した証明書を確認してください。	
MDM証明書の読み取り中にエラーが発生しました。 時間をおいて再度実行してください。	ネットワークへの接続が不安定になっている可能性があります。 しばらく待ってから再度MDM証明書をアップロードしてください。
前回アップロードした MDM証明書と異なるMDM証明書をアップロードすることはできません。	初回登録時および前回更新時にアップロードしたMDM証明書とは別のMDM証明書をアップロードしています。 MDM証明書は、前回発行した同じ証明書を更新し、アップロードする必要があります。「1-2 APCPからMDM証明書をダウンロードする」(p.13)を確認し、APCP上から前回発行したMDM証明書と同じMDM証明書をダウンロードし、管理コンソールにアップロードしてください。 APCP上に証明書が複数登録されており、LanScope Anに登録したMDM証明書が不明な場合は、サポートセンター(p.20)までお問い合わせください。

お問い合わせ先

お問い合わせ先

- 操作方法、トラブル、販売、お取扱いなどのお問い合わせについては、下記のURLをご参照ください。

<http://www.lanscope.jp/an/inquiry/>

- よくあるご質問(FAQ)については下記のURLをご参照ください。

https://faq.motex.co.jp/?site_domain=an

MOTEX

www.motex.co.jp